

あれ、おいしいらしいで ～なんやて！？～

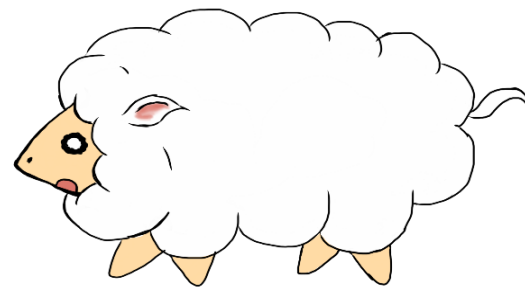
自分の好みに合った飲食店を発掘したい。
もしくは、食べたいものが決まっておらず、飲食店が決まらない。

あなたはこんなときどうしますか？
グルメサイトを使う？地元の人に聞く？

グルメサイトは便利ですが、
自分の好みにあった店を見つけるのは困難であり、
大手飲食チェーン店への店舗誘導などの問題もあります。

また、地元の人に聞くと好みの店を見つけることに、
時間がかかりすぎてしまいます。

本ソフトウェアは、すれ違うことで店舗情報を交換しあい、
自分の好みにあったグルメサイトを構築するソフトウェアです。



エントリー番号：9-1
チーム名：三田のモコモコ

背景

グルメサイト

近年、おいしい飲食店を探すために、グルメサイトが盛んに利用されている。グルメサイトは、地域や食べ物の種類、値段などで検索することができ、希望に応じた飲食店を探すことができる。しかし、グルメサイトは広告費を多くかけている大手飲食チェーン店ばかりにアクセスがあつまる仕組みになっているので、自分の好みにあつた店を見つけるのは困難である。また、「何が食べたいか」が決まっていないとき、検索結果が多すぎて検索しづらい。

まとめると、簡単に店を検索できるが、自分の好みの店を見つけることは困難であり、食べたいものが決まっていないとき、検索しづらい。

会話による情報収集

会話による情報収集では、多様な意見を集約しようとする、手間がかかる。しかし、対人会話のため、個人の主観的な意見であるが、信頼性の高い情報が多い。

つまり、手間がかかるが確かな情報を得ることが出来る。また、あまり有名ではない飲食店の情報も得ることが可能であり、手間をかければ、グルメサイトより多様な飲食店の情報を得ることが出来る。

人に聞くより楽に、自分好みの店の情報を

目的

1. 手間をかけずにユーザーの好みの情報を提供する。
⇒情報の取捨選択をサポートする。
2. グルメサイトでは評価を得にくい、いわゆる「隠れた名店」を発掘する。
⇒あまり有名ではないが、おいしい店を紹介する。

概要

自分の年齢, 性別などを利用者の属性として登録

探す

紹介
する

行く

使うほどにユーザの好みを学習し,
自分と好み似た人と優先的に
口コミ情報を交換する。

自分の好みを反映したグルメサイトを構築する！！

探す

生活の中で, 色々な場所を歩き回ることにより,
周囲の人と自動で通信し, 飲食店の情報を入手する。
情報を共有する人は, 自分の周囲にいる人が多いため,
その地域に住んでいる飲食店の情報を多く入手できる。

行く

実際に飲食店に行く。
来店回数を登録することで
ユーザの好みの学習に役立てる。

紹介する

飲食店の評価をする。
飲食店の評価を書き込むことで
アプリがユーザの好みを学習し,
今後新たに飲食店を探す際に
自分と好みがよく似た人と優先的に通信する。

Bluetoothを利用したスマートフォンアプリとして実装する。

デジタル機器用の近距離無線通信規格の1つであり, スマートフォンにも用いられている。
電波強度によっては, 100m前後通信可能である。

機能

探すモード

通信機能

自分の目的に応じて2種類の通信モードを選択

1. 類似度優先通信モード

ユーザ同士の[類似度\(※\)](#)を優先して通信相手を選択

2. 業種・業態優先通信モード

ユーザの探したい飲食店の業種・業態を優先して通信相手を選択

ユーザ判定機能

個別のIDで全てのユーザを管理

- 自分と好み似ていない、ユーザの評価情報を消去することで、総合評価信頼度を向上
- 気に入った飲食店の評価が高いユーザを明確にし、自分にとって信頼度の高いユーザを判別

※年齢、性別、住んでいる地域、飲食店の評価傾向などから、ユーザー同士がどのくらい似ているかを示す。

紹介モード

自分のおすすめの店舗を紹介する。
店舗を紹介をすることで、
アプリがユーザの好みを学習する。

口コミ機能

自分が行ったことのある店舗の情報を登録

- お店の情報を属性付け
- おいしさ、サービス等で飲食店を100点満点で評価
- 料理などのメニューを紹介
- 様々な口コミを書き込み

来店カウント機能

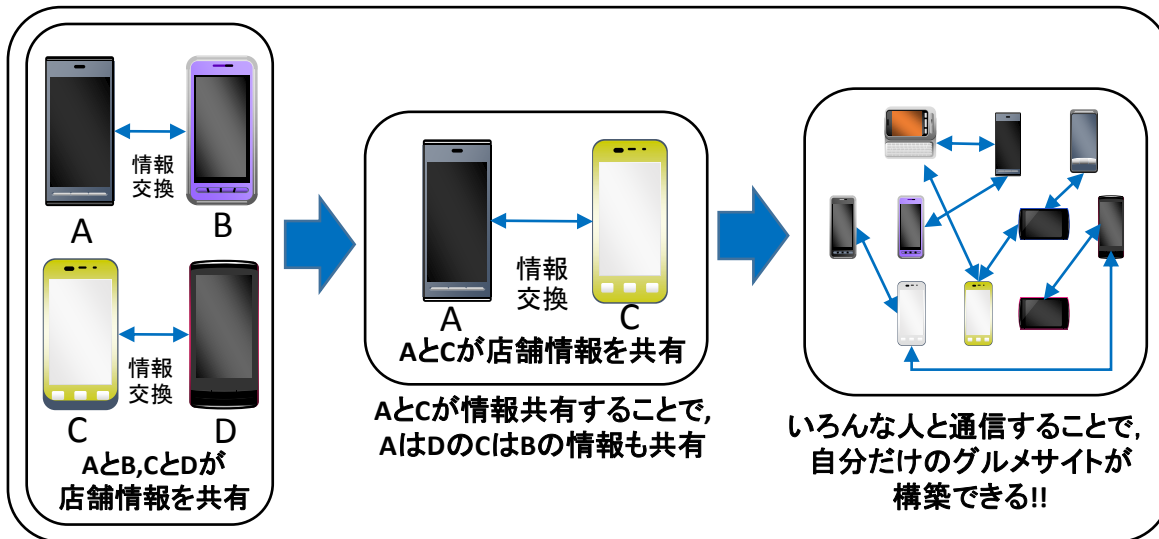
店舗に行くたびに店舗情報のカウント数を登録することによって来店のカウントを実装

- 来店数による評価が可能
- リピート率の高い飲食店を判別

**「口コミ機能」+「来店カウント機能」で
多様な観点での評価が可能！**

システム構成

探すモード



1 アプリを起動し、探すモードを選択

2 通信モードを決め、色々な場所を歩き回る

3 通信モードに応じて、通信相手を決定

4 通信相手と店舗情報を交換

5 同一の人の情報を持っていた場合、最新の情報に統一

行動範囲が似た人と通信することによって、共通点が多いユーザと通信できる確率が高くなる！！

紹介モード

1 アプリを起動し、紹介モードを選択

2 サーバにアクセスし、店舗情報があるか確認

YES NO

3 店舗情報を登録

店舗登録
飲食店の情報はサーバで一括管理。登録したい飲食店の情報がないときのみ、新規で飲食店を登録

4 店舗に対する評価を登録

まとめ

情報が
うつる

行動が
うつる

好みが
うつる

紹介者
がうつる

情報の取捨選択をサポート!!
信頼できる情報を簡単に!!

周囲と自動で通信し、アプリが所持している
店舗情報を自動で交換する。
周囲の人間としか通信しないため、
同一の空間にいる相手のみから情報を得られる。

周囲と自動で通信するため、ユーザの趣味、志向や
行動範囲によって、通信する相手が異なる。
そのため、自分と共通点の多い人の
情報が入手できる。

自分が飲食店を紹介したり、
同一の飲食店に来店するほど、
アプリがユーザの好みを学習することによって、
好みがアプリにうつる。
そして、好みが似た人間の店舗情報を優先的に
入手する。

ユーザ判別機能によって、
各ユーザの様々な飲食店の評価を確認できるため、
評価を記入したユーザの好みがうつしだされる。
その好みと、自分の好みを照らし合わせることで、
どのユーザが自分にとって信頼できるかがわかる。